

3 陳情第 44 号

3 陳情 第 44 号	デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	令和3年11月24日受理、令和3年12月1日付託
陳情者	新宿区下落合————— ————— 会長 —————
<p>(要 旨)</p> <p>2025年デフリンピックを東京で開催するよう、東京都知事宛に意見書を提出してください。</p> <p>(理 由)</p> <p>2018年5月に当協会の上部団体でもあります東京都聴覚障害者連盟評議員会において、デフリンピック（聴覚障害者の国際スポーツ大会）の2025年東京招致に対し特別決議を採決し、2018年6月に全国ろうあ者大会での特別決議が採決されました。これまでそれを元に都福祉懇談会での要請、都議会ヒアリングでの要請などの他、都知事との話し合いや都議会各党との交渉など取り組んで参りました。</p> <p>全日本ろうあ連盟でもデフリンピック招致チームを立ち上げ、東京メンバーと共に都との交渉に同行するなど、東京開催に向けて積極的に招致活動を進めております。また資金造りのためグッズを作成し、販売活動をしております。</p> <p>1991年に東京で開催された「第11回世界ろう者会議」は、「聴覚障害者独自の拍手普及」や「ろう者のアイデンティティ確立」など、認識の変化をもたらすという結果を残しました。よってデフリンピック東京開催は、聴覚障害者に対する理解や手話言語の必要性、またそれらを通してボディランゲージなどの非音声コミュニケーションへの理解や順応が広がり、国際的な対応力に与える影響はきっと大きいものとなるでしょう。</p> <p>2025年というのは、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてからちょうど100年目にあたります。その記念すべき年に東京で開催することは国内外に成熟した開催都市をアピールするまたとない機会となります。</p>	